

アメリカ式
銃撃テロ対策ハンドブック
—アメリカ政府指針・マニュアル集—

目次

はじめに 7

資料の再構成について 10

第1部 総合対策 11

資料1 銃乱射対策携帯用カード 12

資料2 『銃乱射犯対策の計画と対応——米国政府施設の保安に
関する省庁間委員会の方針と最適慣行の手引（公開版）』 14

第1章 事件対応 14

1.1 逃げる 14

1.2 隠れる 16

1.3 戦う 18

1.4 障害をもつ施設入居者と逃げ、隠れ、戦うための検討事項 20

1.5 警察・消防・救急等との意思疎通 21

1.6 対応組織の役割と責任 23

1.7 現場への接近と突入部隊・被救助者の集結 23

1.8 入居機関の警察に対する協力 24

1.9 広報およびメディアへのメッセージ 25

1.10 危機における効果的な意思疎通と広報の重要性 26

1.11 「逃げる・隠れる・戦う」ための心理と訓練 28

『銃乱射犯対策の計画と対応——米国政府施設の保安に関する省庁 間委員会の方針と最適慣行の手引（公開版）』の刊行に寄せて 米国政府施設の保安に関する省庁間委員会 委員長のメッセージ 32	
米国政府施設の保安に関する省庁間委員会（ISC）の方針 33	
概要 35	
第2章 銃乱射事件対策の背景……………	37
第3章 入居機関緊急事態プログラムへの 銃乱射事件対策の導入……………	41
3.1 課題 44	
第4章 事前の備え……………	46
4.1 職場暴力の指標・前兆・事件を通報する 49	
4.2 脅威評価チーム 51	
4.3 職員支援プログラム 53	
4.4 警察・消防・救急等との調整 54	
第5章 訓練と演習……………	56
5.1 訓練教材と課題認識のための資料 57	
5.2 施設入居者による自助と応急処置 58	
5.3 救急医療要員（消防・救急）の検討事項 59	
5.4 演習 59	
第6章 復旧……………	63
6.1 家族との再会 64	
6.2 心理的応急処置 67	
6.3 心理的応急処置の訓練 69	
6.4 被害者と家族への支援の管理 71	
付録A 被害者と家族への支援の検討事項 72	
脚注……………	79

第2部 撃たれた人の救命……………	85
資料3 図解「出血を止めよ」……………	86
資料4 『即製爆発装置事件および銃乱射事件において 生存性を高めるための初動要員用ガイド』……………	88
概要……………	88
予備知識	
A. 初動要員の定義 91	
B. 脅威の定義 92	
C. 米軍の教訓と非軍事部門への応用 93	
D. 即製爆発装置（IED）事件 98	
E. 銃乱射事件 101	
F. 止血 104	
脅威に基づくシナリオ……………	107
シナリオ1 大規模なテロ・ゲリラ攻撃 108	
シナリオ2 中規模のテロ・ゲリラ攻撃① 116	
シナリオ3 中規模のテロ・ゲリラ攻撃② 124	
シナリオ4 小規模のテロ・ゲリラ攻撃 132	
シナリオ5 自爆テロを強制された者 140	
シナリオ6 自家製爆発物の発見・回収（攻撃ではない） 147	
シナリオ7 初動要員の進入が阻止されている銃乱射事件 151	
シナリオ8 商業施設の銃乱射事件 160	
シナリオ9 見通しのよい開放的な屋外の銃乱射事件 168	
シナリオ10 競技場の銃乱射事件 175	
脚注……………	183

第3部 銃・弾薬の威力と防弾—————189

資料5 銃16種類と弾薬12種類の威力『21世紀のテロリズムの
軍事面に関するガイド』付録B 銃器…………… 190

概論…………… 190

訳者による用語解説…………… 191

拳銃 CZ 75 / 弾薬 9×19mm パラベラム弾 193
グロック 17 / 弾薬 9×19mm パラベラム弾 194
マカロフ (PM) / 弾薬 9×18mm マカロフ弾 195
ルガー GP100 / 弾薬 .357 マグナム弾 196

短機関銃 H&K MP5 / 弾薬 9×19mm パラベラム弾 197
PM63 / 弾薬 9×18mm マカロフ弾 198
UZI / 弾薬 9×19mm パラベラム弾 199

突撃銃 AK-47 / 弾薬 7.62×39mm 弾 200
AK-74 / 弾薬 5.45×39mm 弾 201
コルト M16A2 / 弾薬 5.56×45mm NATO 弾 202
コルト M4 / 弾薬 5.56×45mm NATO 弾 203

狙撃銃 アーマライト AR-50 / 弾薬 12.7×99mm NATO 弾 204
レミントン・モデル 700 / 弾薬 .223 レミントン弾、
.308 ウィンチェスター弾 206
シュタイヤー SSG 69 / 弾薬 7.62×51mm NATO 弾 207

散弾銃 フランキ・スパス 12 / 弾薬 12 番の散弾実包と一粒弾 208
モスバーグ 500 / 弾薬 12 番の散弾実包と一粒弾 209

資料6 防弾装備の等級…………… 210

資料7 防弾壁に必要な厚さ…………… 215

頭字語のリスト 216

各資料の原題と URL 220

あとがき 225

索引 227